

した。こうした重工業の国有企業は、今

ではスクラップの山です。失業者がきわめて多い。さらに、漢族以外に朝鮮族、女真族、蒙古族などもいて民族的構成が非常に複雑です。そこに大量の難民が入った場合、非常な混乱を起こすことを中国の政権中枢部は恐れているのですよ。

混乱が中国全土に波及する可能性も否定できません。だから中国は、どう圧力をかけるべきか戸惑っているのでしょうか。

さかもと ロシアはどうでしょうか。
渡辺 極東シベリア地域には、ほとんど人が住んでいませんし、あの強大なロシアに対して北朝鮮が何かの軍事行動を起こすとは到底思えない。6カ国協議でもロシアが一番、やる気がない。中ソ関係を悪くしたくないから、中国の言うことに大体そっぴているというのが現実なのではないでしょうか。

問題は韓国です。ミサイル連続発射、それから今度の核保有宣言、核実験にもかわからず、今までの太陽政策は行き過ぎだという世論が一部にはありますが、基本的には北へのサポート志向は変わっていません。金剛山観光事業も開城工業団地計画も今までと変わらず続行してい

ます。

さかもと 非常にそれを強く感じます。先生がおっしゃっている「族譜」という考え方に基づけば、北朝鮮も南朝鮮も同じもの。この血のつながりは無視できないですよ。

渡辺 私は「血族ナショナリズム」という言葉を使っています。朝鮮半島は、古来、大陸勢力と海洋勢力がせめぎあう大変に厄介な地政学的構図の地域です。最後に信用できる人間は、血族だけ。血族が固く結束していなければ共同体も守れないし、国家も守れない。ですから朝鮮半島における血族ナショナリズムは、ある種の民族的なDNAなのではないでしょうか。

一族が発生した地域を朝鮮では「本貫」といいます。本貫に始まって現世代の自分に至るまでの系譜が「族譜」です。韓国人にとっては、自分がこの家系図の何代目のどこに位置しているということがはつきりさせないとアイデンティティが保てない。そういう気分には大変に強いものがあります。この血縁的構図が国家にまで延長されて、血族ナショナリズムになっているというのが朝鮮半島の

面白いところです。

東洋では「ネーションステート」のことを「国家」といっていますが、本当に「家としての国」という「国家」の意味が根付いたのは、朝鮮半島だけだろうと私は思いますね。つまり、家族を擬したものが国だという見方をするわけです。

さかもと 順当な考えですね。
渡辺 朝鮮半島のナショナリズムは非常にピュアです。これを侵したものは絶対に許さないという、反外勢ナショナリズムがその内実です。親北と同時に反米、反日的なセンチメントが強いのは、そういうDNAのなせるわざなんです。

さかもと 東西対立の最前線で、代理戦争をさせられたわけですからね。
渡辺 冷戦構造が崩れれば、北と南がくつつくのは、当然の力学ですね。北の方から南にすり寄ることはないでしょうが、南は民主社会ですから、南北統合への国民の心情を押しとどめるメカニズムは存在しません。

さかもと ただ、北と合併すれば、南には大変な経済的混乱が起きますよ。
渡辺 朝鮮半島以外の人はそう考えるでしょうけれども、韓国に住んでいる人

渡辺利夫氏 昭和十四年（一九三九年）、山梨県生まれ。四十五年、慶応義塾大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士。筑波大学教授、東京工業大学教授を経て、平成十二年、拓殖大学教授・国際開発学部長、十六年同大学院国際協力学研究所委員長、十七年同大学院長・大学院院長。著書は『成長のアジア停滞のアジア』（東洋経済新報社、吉野作造賞）、『開発経済学』（日本評論社、大平正芳記念賞）、『西太平洋の時代』（文藝春秋、アジア太平洋賞大賞）、『神経症の時代』（TBSブリタニカ、開高健賞正賞）など。

は必ずしもそうは思っていない。朝鮮戦争の離散家族が双方あわせて1000万人いるような地域ですから、やはり面倒を見てやろうと考えるのは、韓国人の立場に立てば分からないではない。

さかもと なるほど。そういうところで対北制裁で足並みがそろわなかったり、拉致家族に対して国家として無関心だったりするのでですね。

渡辺 韓国人は北が核を開発していることは前から知っています。核弾頭が自分の方に飛んでくるとは考えない。あんなものは日本に行くに決まってるよ、というのが韓国人、とくに若者の平均的な気分なのではないでしょうか。

米露の立場と安倍首相訪中

さかもと 朝鮮戦争で南北が分断され、ソ連の後盾で金日成は北朝鮮を作りました。北朝鮮がここまで追い詰められた原因には、冷戦が終結し、ロシアが手を引いたことがあるのでしょうか。

渡辺 ソ連の傀儡として金日成が送り込まれ、粛清に粛清を重ねて独裁政治を完成し、ここに計画経済を導入したものの、悲惨な低迷に陥ってしまったというのが事実です。生き残る手段は軍力しかない。朝鮮戦争で米軍の圧倒的な軍勢力を目のあたりにしたことが、北朝鮮の原体験として刷り込まれているのでしようね。核開発は急に始まったものではなく、金日成政権の誕生時から考え抜かれてきたものだと思います。

ソ連崩壊は、北朝鮮にとって決定的なダメージでした。「友好価格」で安く渡されていたエネルギーが、市場価格になって窮迫の度を増しました。そこで今度は中国に接近して、今は中国に生殺与奪の権を握られています。

さかもと だんだんわかってきました

た。日・韓・中国、そして北朝鮮というアジア4カ国だけではなく、その後ろにロシアとアメリカという大国があり、そういう意味では、私はちょっとアメリカがサボりすぎではないかと思うのですが。

渡辺 アメリカの立場は実に苦しいですね。核保有国である常任理事国5カ国とインド、パキスタンに加え、イスラエル、イランなどが核を保有・開発していきます。リビアは何とか圧力をかけて核放棄を約束させましたが、北朝鮮が残ってしまった。これを放置すると核拡散のスピードが増し、核がテロリストの手に渡る危険性がある。核はもちろん政治的な武器であり、心理的な武器であり、相手を抑止するための武器ですが、北朝鮮の場合はさらに外貨を得る商売の道具です。困った話です。しかし、アメリカもアフガニスタン、イラクで手いっぱい、北朝鮮にまで手が回らない。

さかもと ただ、日本人としては、せっかく安保を結んでいるのだから動いてほしいという気持ちは持っている。そういう中で、安倍首相は訪米より先に、中国に行きました。これはどういう背景でしようか。

渡辺 中国の圧力を強心臓で突っ張ってきた小泉路線を、新政権になっても続けるほどの政治力、外交力は日本には残念ながらないということですよ。しかし安倍首相は靖国参拝やA級戦犯合祀などで言質を取られないよう、非常に微妙な外交的工夫をして出て行ったわけで、それなりに評価できると思います。つまり、中国からの強力な対日圧力がかかる現状を何とか切り開かなければ、北東アジアの政治的安定化はないという、そういう常識論に安倍さんは回帰しつつあるということだと思います。私はもう少し長い眼で安倍外交を見てみたいと考えていますよ。

さかもと それに中国が乗ったということは。

さかもと未明氏 昭和四十(一九六五)年、横浜市生まれ。玉川大学文学部卒業。商社でのOL生活を経て漫画家に。代表作は『マンガ/ユング「心の深層」の構造』『マンガ/ギリシャ神話』(講談社)、『ニッポンの未明』①②(扶桑社)、エッセイも執筆し『さかもと未明の美人革命』(大和出版)、『キレイが勝る! 幸せになる美人道』(講談社)など著書多数。平成十二年、「花惱」(『文学界』七月号)で作家デビュー。

渡辺 胡錦濤氏は江沢民氏を襲って党総書記になったのですが、その時点で対日政策の変更を考えていた節がある。しかし、江沢民時代に根付いてしまった国民の反動的なセンチメントに呪縛されて動けなかった。ところが、江沢民派と胡錦濤派の権力闘争の中で、江沢民氏も高齢になってカリスマ性を失っていくという状況となり、相対的に胡錦濤氏の権力ポジションが上がってきたわけですね。

それゆえ旧に復して対日関係を正常化しようという心が少し動き始めた。その時期に安倍政権が生まれ、いいタイミングだと両者に暗黙の合意が生まれたのだと私は見ています。中国にとっては大変重要な6中総(第6回中央委員会総会)の初日に安倍首相にトップ3が会い、それぞれ1時間以上会談したということは、胡錦濤氏の国内の江派に対するシグナルであり、日本人に対するシグナルだったんでしょね。

さかもと 今後、北朝鮮に対し日中が密接に協力していくことは可能ですか。

渡辺 いや、そこは難しい。数年間も首脳同士が会談できないという異常な事態が少々正されただけで、パートナーシッ

プが組める状況にはとてありません。

日本が持ちうる「抑止力」

さかもと 金正日は核実験によって、世界に何を訴えたいのでしょうか。

渡辺 仮に北朝鮮が核を保有しないと、誰も相手にしてくれないただの貧乏国家です。窮迫をつづけて崩壊の寸前です。そういう状況は金正日には到底我慢できない。自らが生き延びるための唯一の手段が核保有です。北朝鮮は外国が何をどうしようも、絶対に核放棄はしません。もし放棄の意志を金正日が顔に表しただけで政権はつぶれるでしょう。核保有を宣言してしまつた以上、極東アジアの安全保障環境は一変してしまいました。

さかもと 日本はどう対応すべきですか。

渡辺 日本が取りうるオプションは2つあります。アメリカも、多くの日本人も望んでいるのは、日米同盟を磐石なものにしておくこと。もう1つは日本が核を保有するという選択です。当然のことながら、前者が支持されるべきだと思います。

ます。

先だつて中川昭一政調会長が「私は非核三原則論者だが、核についての議論はあつていい」と述べ、麻生太郎外務大臣も「北朝鮮が核保有をしたのだから、核保有について考え方の整理くらいはやつておくべきだ」と発言したら、野党はもとより、与党の中からも、そんな発言はそれ自体が外国に誤ったメッセージを送ることになるといふ、非難がわきおこりました。これではどうにもならない。核保有はともかくとしても、たとえば海上自衛隊の艦船に北朝鮮に届くミサイルをどうやって配備するか、今4つあるイージス艦をもっと増やさなくていいのか、核防衛網の前倒し配置はしなくていいのか、今度の国会でもそういう議論が本格的になされた気配はないですよ。

これだけ目の前に危機があつて、語れない国会も国民も政治家もだめだと思ふんです。

渡辺 国民の方はもう少し覚めてると思ひますよ。1981年、古森義久さんが毎日新聞にいたころですが、「日米間の了解の下で、アメリカ海軍の艦船が核兵器を積んだまま日本の基地に寄港していた」とのライシャワー元米駐日大使の発言を引き出しました。その後、それを裏付ける米側の外交文書も出てきた。日本政府は全面否定していますがね。アメリカが広大な西太平洋で第7艦隊を展開するのに、世界で最も効率的な日本の寄港地を使わないことはあり得ません。そのことは日本の国民もうすうすは知っているはず。こんなダブルスタンダードはやめようと、政治家も考え始めています。だから中川政調会長も麻生外相も、この発言で首が飛んだわけではないですよ。

日本にはプルトニウムが約40トンあり、核起爆装置の製造技術もあるそうです。だからといって、核を保有すべきだなどとは言いません。日本はその意思があれば核保有する技術は十分に持つてい

るといふことを、対外的なメッセージとして発信することによって、抑止力を作り出すのが政治的な知恵だろうと私は思ひますね。

さかもと アメリカとはどのように協働していけばいいのでしょうか。

渡辺 たとえば公海上で臨検が始まると、北朝鮮は臨検は戦争だと言つていますから、ここで戦闘が起こる可能性は大です。そのとき、アメリカが手ひどいダメージを受けたのに、日本がなにもできなかった場合、アメリカは大衆の国ですから、「われわれは日本のためにこれだけやつてゐるのに日本は何もしてくれなかつた」とCNNあたりで放送されたら、翌日、日米同盟はひっくり返されるでしょうね。アメリカの「日本放棄」です。

一刻も早く集団的自衛権を行使できるようにすることが何より肝心です。憲法改正ではつきり謳うのが望ましいけれども、そこまで行かないまでも、首相が「集団的自衛権は今回の危機により発動する」と明言すればすむことです。アメリカとの強い軍事外交上の信頼関係がなかつたら、日本は丸裸になる。何をすべきかは、はつきり見えています。そう

いう行動が、北朝鮮の暴発に対する抑止力になるわけですからね。

北朝鮮の衰弱シナリオ

さかもと 北朝鮮が今のまま、軍事国



家として乱暴なことを続けても、未来はないと思います。政権崩壊をも望まざるを得ないところにきています。北朝鮮が崩壊したとき、核拡散や周辺国への経済的なダメージを防ぐには、何をしたらいいのでしょうか。

渡辺 非常に難しい問題でね、冒頭にお話ししたとおり、北朝鮮は今、実にいい外交的ポジションにいるんです。6カ国のいずれもが北朝鮮の激変を望んでいない。だからこそ、北朝鮮はこれだけ時間稼ぎができて、着々と核を完成させつつあるという構図なんです。

さかもと そうやって放置しておく間に、民衆が飢えていくのを見殺しにしていいのか。

渡辺 もちろん、中国やNGO、世界食糧計画などを通じて、相当の援助をしています。それが草の根に届いているという保証は一切ありません。一部の政権中枢部を肥らせるだけなのでしょう。

さかもと ええ、できれば援助は軍隊と各国のNGOが届け、そのゆく末を見守ってほしかったのですが、いずれにせよ政権が変わらないと何もできないので

しょうね。

渡辺 希望的なシナリオは、拉致を認め、拉致被害者を日本に返す。それから核の放棄を宣言し、査察を受け入れる。そうして日朝平壤宣言に基づいて日朝の

国交を樹立させ、相当額の日本の援助を受け取り、これをもって改革開放を進める。そして北朝鮮が市場経済化を展開して、だんだんと現在の中国のようになっていくというのがベストのシナリオですよ。そのシグナルを日本は小泉訪朝で出しているわけですね。それに乗れるか乗れないか。金正日にこのシナリオを期待するのは無理に決まっていますがね。

さかもと なぜですか。

渡辺 軍が飛び抜けて強いからでしょう。金日成も金正日も圧倒的な「力」の信奉者ですからね。

さかもと アメリカが金正日の亡命を助けるということは。

渡辺 宮廷クーデターは今まで何度も噂されてきました。事実だと思えます。しかし現在までに反体制派は完膚なきまでに肅清されております。政権内部からクーデターが起こる可能性はないでしょ

う。住民は完全に飢え、軍と党により統制されて身動きできない。それに、たとえば強制収容所に連行された人、処刑された人が親族にいないような家族はないわけですから、政権崩壊は実に凄惨な悲劇を招かざるをえません。この恐怖を拭い難く政権中枢部は持っています。恐怖政治はこれが呪縛になって、ますますこれを強化していくしかないという矛盾から逃れられません。

さかもと 2 国間協議を北がやりたがっているのにアメリカが出てこないのはどうということなんでしょうか。

渡辺 クリントン政権は北朝鮮に一杯食わされるといふ屈辱を味わわれました。ブッシュ政権が2 国間協議に応じることはあり得ない。金融制裁を通じて北朝鮮を締め上げ、その戦略に日本も中国も加わっていくという方向しかないでしょう。

さかもと そうすると、万が一、核を暴発させた場合「ただではすまない」という態度を示し、行為で見せていくほかないのでしょうか。

渡辺 暴発と言いますが、1 発目は可

能でも、2 発目は迎撃を受けているはずですよ。それを受けるほど金正日は愚かではない。

さかもと 金正日が健康を害して亡くなった場合はどうなるのでしょうか。

渡辺 後継者は、長男か次男か。金正男になるのでは、というのが確度の高い情報のようなですね。

さかもと どう見ても、彼は軍人のお飾りになるのでは。

渡辺 そうでしょうね。先軍政治がますます強化され、国民は飢えて痩せ細っていく。「崩壊シナリオ」というより「衰弱シナリオ」といふべきでしょうか。過去数年間で350 万人が餓死したという情報がありますよね。そして軍事部門だけが残るといふ奇妙な国家になっていくんじゃないでしょうか。

さかもと そうなると、先陣を切るのはアメリカしかないのでしょうか。

渡辺 たとえば臨検を通じて北朝鮮が攻撃し、それに対応するというような事件をきっかけにそういうことになる可能性はあるでしょうね。

さかもと ただ、アメリカが空爆する

ための言い訳の1 発目が、日本国内に落ちてしまう可能性もあります。日本はそこはどう回避したらいいのでしょうか。

渡辺 海上自衛隊へのミサイル搭載、ミサイル防衛網、イージス艦の増強等々やるべきことはいっぱいあるはずですよ。

さかもと 逆に言えば、ずっと縛られてきた日本のある部分を解き放つチャンスだとも考えられますね。

渡辺 日本が小沢一郎氏言うところの「普通の国」になるためのシグナルを北朝鮮が送ってくれているわけですから、われわれは金正日様に感謝しなければならぬ(笑い)。それでもまだ目が覚めていないのかもしれないよ。この60 年余、太平洋を決め込んできた揚げ句、北朝鮮の核保有というショックを与えられてなお、言論封鎖をやっているんですからね。

さかもと 冷戦時のように緊張が高まっていますが、その中できちんとした判断をして、国際社会で認められる日本人でありたい。それが米、中とも関係を良好にしていくような気がします。

先生、ありがとうございます。